



学校便り

うこっ子

「自分の思いや考えを表現できる」うこっ子

創立 142 周年

阿久根市立大川小学校

TEL 74-0007

令和5年 1 月号

校長 中能 健尚

一年の計は元旦にあり 一日の計は朝(あした)にあり 新年明けましておめでとうございます



【霧島神宮（国宝）へ初詣】

令和5年卯年がスタート。皆様には、すがすがしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

「一年の計は元旦にあり」「一日の計は朝にあり」先ず新年（朝：あした）のうちに今年（今日）やるべき目標を立てて、新たな気持ちで実行するという事です。「冬来りなば、春遠からじ」寒さが厳しい中にも、必ず明るい希望の春が訪れます。「今年はよい年にしていこう」「一日一日を大切に生きよう」と決意を新たに、目標達成へ向けて努力を継続させ、希望の春を迎えられることを願っています。学年のまとめの学期として、教育活動の総仕上げに全力で傾注してまいります。皆様のなご一層のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

「努力を続ける才能は誰にも負けたくない」

～始業式の話から～ 3学期のキーワード「努力」と「感謝」

昨年、サッカーワールドカップが開催されましたが、日本チームの活躍は、国民に勇気と感動を与えてくれました。代表選手である長友佑都選手が言った言葉「ブラボー」も流行語になりました。今、長友選手は、東京FCというクラブチームに所属していますが、過去には、世界最高リーグと言われているイタリアのプロサッカーリーグ、セリアA（アー）のインテルというチームで活躍していました。プロサッカー選手は、180cmを優に超える選手がほとんどですが、長友選手は、身長が170cm、体重68kgで、プロの中では、本当に小さな選手です。では、その小さな長友選手は、いったいどのようにして、世界のトップレベルの選手になれたのでしょうか。それは決して平坦な道ではなかったようです。彼は、大学時代、サッカー部に所属していたのですが、入部して間もなく病気をしてしまい、試合には全く出られず、スタンドで応援する日々が続いたそうです。そのとき彼は、サッカーができないこと、試合に出られないことから、ストレスがたかさんたまり、やる気を失ってしまいました。そして、遊んでばかりいた日々が続いたそうです。そんな長友選手を救ってくれた人たちがいます。それは、家族や大学の仲間です。彼の家族や仲間は、遊んでばかりいた長友選手を叱咤激励したそうです。それをきっかけにして、長友選手は、もう一度がんばろうと心に決めたそうです。その後、彼は立ち直り、JリーグのFC東京の一員としてプロデビューをし、その後、イタリアに渡って、今のすばらしい活躍へとつながっていくのです。その長友選手が、次のような言葉を言っています。「僕にはサッカーの才能はないが、努力を続ける才能は誰にも負けたくない」という言葉です。世界最高の舞台上で活躍した選手が、「僕にはサッカーの才能がない。だから毎日毎日努力を続けるんだ。努力を積み重ねる才能は誰にも負けたくない」と言っているのです。この彼の言葉から、彼は壁を乗り越えるために、そして壁を乗り越えた後も、毎日毎日すごい努力を積み重ねて、今のすばらしい活躍につながっていることがわかります。子どもたちも「努力」という言葉をよく使うと思います。テストなど、その努力が実って結果が出たこともある



でしょう。努力したけれども結果につながらなかったこともあるでしょう。時には努力を途中でやめてしまっても後悔したこともあるでしょう。皆、人間ですからうまくいくときもそうでないときもあります。しかし、長友選手のような超一流選手であっても日々努力を続けているのです。大川の子どもたちも自分の夢や目標に向かって、日々「努力」を続けていってほしいです。スポーツでも音楽でも勉強でも同じこと、大川の子どもたちが「努力する才能」がいろいろな場面で花開くことを期待しています。

【頭の体操】

☆何と読むでしょうか？



【前回の答え】①餃子 ②ワカメ

2 学期 学校評価

2学期末に、保護者・児童・地域の方を対象に、アンケートを実施いたしました。

1学期末評価(学校便り8月号に掲載)との比較がこちらです。

【 児童と保護者の評価が大きく異なった項目 (※4点満点) 】

項 目	1 学期		2 学期	
	児 童	保 護 者	児 童	保 護 者
教科等の基礎・基本が定着しているか	3.5	2.8	3.5	2.9
テレビやゲームの時間が決められているか	3.5	2.6	3.3	3.0
気持ちのよい挨拶や返事ができているか	3.8	3.1	3.7	2.9
整理・後始末がきちんとできているか	3.5	2.5	3.1	2.6
読書に親しんでいるか	3.5	2.8	3.4	3.0
学校は楽しいですか(楽しく通っていますか)	3.5	3.6	3.6	3.4

1学期、特に親子で評価の差が大きかった5項目について、2学期は児童の評価が下がり、保護者の評価が上がっている傾向が見られました。

地域の方(学校運営協議会委員・区長様)から【一部掲載】

- 自分から挨拶ができるようになりました。朝夕寒くなり登下校も大変だと思いますが頑張っています。
- 少人数で運動会やその他の行事に精励努力し、校内もきれいに保清されています。
- さまざまな年間学業が廊下などに掲示されていて、大川小の活動が楽しく行われているのと子ども達の明るさなどが伝わってきました。思いやりのある校風を感じました。
- 大きな声で挨拶する。体育祭、発表会などよく頑張っている。
- コロナ感染症のために、地域との関係が希薄となっており、小学生と話をする機会がありませんが、交流の場があれば良いと思っています。
- 大川校区の行事等に大変協力的です。これからもよろしく願います。
- 常に先を見据えて1日1日を大切にしてもらいたい。

低学年の自己評価が1学期に比べて下がっていましたが、これは自分達の出来ていないことが見えてきた(=成長の証)と考えています。

地域の方からは、コロナ禍が続く中、多くの行事が縮小・制限され、地域と子ども達・学校との関係が希薄になりつつことへ不安が上がっています。

子ども達の安全・健康と交流・体験活動等をどう両立させていくのかは、今後の大きな課題です。



餅つき大会・門松づくり

12/11(日)に、「門松作り」と、令和元年度以来となる「餅つき大会」を実施しました。

コロナ感染予防対策のため、米作りでお世話になった「八人衆」の方々のみを招待しての開催としましたが、ついた餅は、松永照恵さんに指導していただきながら、高学年女子とお母さん達で丸い餅に仕上げ、その間、残りの児童とお父さん達で、門松作りをおこないました。

できあがった餅はお世話になった方々へ配ったり、みんなで持ち帰っておいしくいただきました。



「河川愛護運動」で表彰されました!

本校では毎年、河川の清掃活動を実施していますが、その長年の活動が認められ、県から表彰状が贈られました。

今後も故郷の美しい自然を守る活動に積極的に取り組んでいきたいと思ひます。



1月

1月下旬～2月の主な行事

2月

- 17日(火) 鹿児島学習定着度調査(学力調査:国・理)
- 18日(水) 鹿児島学習定着度調査(学力調査:社・算)
- 19日(水) 6年生親子給食・学校保健委員会・全体PTA・専門部会
- 20日(木) 鹿児島学習定着度調査(学習状況調査)
- 24日(火) 中学校入学説明会・
- 26日(水) 阿久根小との交流活動(6年)
- 27日(木) 新入生体験入学・保護者説明会・保幼小連絡会

- 5日(日) 市生涯学習フェア(古田芽音さん弁論発表)
- 6日(月)～10日(木) にこにこウィーク
- 8日(水) PTA役員会
- 9日(木)～15日(水) 家庭学習強調週間
- 14日(火) 第5回学校運営協議会
- 16日(木)・17日(金) 保護者との教育相談
- 22日(火) スクールカウンセラー訪問日